

## 学校評価保護者アンケート結果のお知らせ

立春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より学校教育へのご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、先日行った学校評価アンケートの集計結果ができましたのでお知らせいたします。また、ご意見・ご要望に関しては、全職員で確認しました。次年度に生かしていきたいと考えております。今後とも本校教育へのご支援ご協力を宜しくお願いします。(ご意見・ご要望はHPに掲載しております。)

4：あてはまる 3：どちらかといえばあてはまる 2：どちらかといえばあてはまらない 1：あてはまらない

(数値の単位は%になります。)

	評価項目	4	3	2	1	肯定割合
1	垣花小学校は「夢と希望を育み どの子も楽しく学び 生き生きと活動する 垣花っ子の育成」の教育目標にむかって取り組んでいる。	37,5	60,2	2,3		97,7
2	学校は、「よく考える子」「思いやりのある子」「たくましい子」「ききあう子」の実現に向けて、工夫した取り組みを行っている。	48,8	49,6	1,6		98,4
3	学校・学級は、学習の内容や子どもの様子を各種のお便り・お知らせで知らせている。	66,4	29,7	3,9		96,1
4	学校は、保護者・地域の願いを受け止め、願いに沿った教育を展開している。	46,5	48,8	4,7		95,3
5	学校は施設の保清、安全管理に努めている。	59,1	38,6	2,3		97,7
6	学校は、子どもに基礎的な学力が身に付く取り組みや指導を行っている。	58,3	38,6	3,1		96,9
7	教職員は、子どもの能力や努力を適切に評価している。	58,3	40,9	0,8		99,2
8	学校は、社会におけるマナーやルール、規範意識を守る態度を育てるよう取り組んでいる。	56,3	40,5	3,2		96,8
9	学校は、不登校をなくすための支援や援助を行い、改善にむけて適切に取り組んでいる。	49,2	48,4	1,6	0,8	97,6
10	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	54,8	42,7	2,4		97,5
11	教職員は、子どもたちのよさや気持ちを理解し、共感的に接してくれている。	64,3	32,5	3,2		96,8
12	教職員は、子どものことについて相談に応じてくれる。	71,1	27,3	1,6		98,4
13	学校は、子どもたちが健康の保持・増進ができるよう、体力づくりや食に関する指導を行っている。	57,8	40,6	1,6		98,4
14	学校は、コロナウイルス感染予防に関する指導を行うことで、子どもたちの健康管理への意識を高めるようにしている。	66,4	29,7	3,1	0,8	96,1
15	学校は、自分たちの学校を誇りに思うよう地域の歴史とよさを理解する教育活動に取り組んでいる。	55,1	41,7	3,1		96,8
16	学校は、交通安全・事故防止に心がけ、適切な配慮や子どもへの指導を行っている。	64,8	33,6	1,6		98,4
17	学校は、地震や火災・津波などについて、子どもが避難の仕方を知り、自分の身は自分で守れるよう指導している。	63,3	36,7			100

保護者の声（要望、意見）・・・→は学校からの回答になります。

○いつも学校の子ども達への細かい配慮を感じます。ありがとうございます。子どもと向き合い、気持ちを受け止めて、一緒に子育てしているように思っています。

○先生方がいつも子どもに寄り添い、親身になって指導にあたってくださること、本当に感謝しています。いつもありがとうございます。コロナで厳しい中ですが、体育の授業参観で子どもたちの活躍を見ることができたことはとても良かったです。

○垣花小学校を今年卒業します。子供たちに温かく見守りながら接していただけたことに感謝の想いでいっぱいです。のびのびと可能性を引き出し、個性を大切にしてくださいました。垣花小学校で過ごすことができ、素敵な六年間になり、ありがとうございました。

○大変な状況の中、出来る限るのことを模索しながらも色々ありがとうございます。

○コロナ感染対策をしながらの工夫した教育への取り組みを感謝しています。

○コロナ禍で学校行事等がなくなり、さみしくなりましたが、運動会と授業参観等工夫し、参加する機会を作っていただきありがとうございました。これからもお願い致します。

→職員へのねぎらいや感謝のお言葉、ありがとうございます。これからも、子どもたちが安心・安全で過ごしていけるように取り組んで参ります。今後とも、学校教育へのご理解とご協力をお願いします。

□教師の負担も増えないようバランス良く業務にあってください。コロナ禍が続けば次年度も6年生の思い出に残るような行事をしてあげて欲しい。もちろんPTAも協力を惜しまないし、子供達側からも提案していこうと思うので学校側も柔軟な発想で対応いただきたい。他の県で実績のある校内での「逃走中」など。

→職員へのご配慮ありがとうございます。6年生にとって残り少ない学校生活が充実するように努めてまいります。「行事」に関しては、子どもたちが計画中だと聞いておりますが、新型コロナウイルス感染状況を踏まえて、開催の可否について検討してまいります。

□先生方はいつもあたたかく見守ってくださっています。私の子どもは理科やロボットに興味を持っているのですが、誰に聞いたらよいのか分からないようです。給食の際の放送を使って、紹介やトピックや先生方の専攻科の紹介等があったら楽しいだろうなと思います。

→ご意見ありがとうございます。誰に聞いたらよいのかということに関しては、子どもにとって一番身近なのは担任なので、担任に声をかけてください。先生方の専攻科の紹介やトピックに関しては、関連する授業の中で話しています。

□鏡原中正門のコスモスが綺麗でした。垣花小学校も入口に可愛らしい「わっ」っとなるようなお花畑を作ってほしいな。

→ご意見ありがとうございます。確かに、花がたくさんあると綺麗ですし、気持ちも癒やされますが、本校は児童が少なく、職員も限られているため、本校に合った取り組み（一人一鉢）で子どもたちの情操教育を行っております。

□子ども達が学校でどのような授業を受けて、どのような過ごし方をしているのかは分かるはずがないので、答えづらい質問ばかりでした。教育ポリシーに沿った授業や指導ができているのかは、お便りだけでは判断しづらいのではないのでしょうか。

→ご意見ありがとうございます。子どもたちの様子については、学校・学年便り、HPだけでなく個人面談等でもお伝えしていけたらと思います。質問に関しては、内容を検討していきたいと思っております。

クラスによって宿題の量が偏っている。一斉にノー宿題デーを設けてみるのはどうですか？

→基本的には、音読・がんばり（1～2ページ）・プリント（1～2）または、ドリル等を与えています。量に関しては、その日の授業の進捗もあるため、毎日同じ量ではないと思います。もし、宿題の量が日頃から多いため、ご負担に感じているのであれば、担任と相談していただきたいと思います。

本人が教育目標に対してまだ理解できていないようなので、少しずつ教えていきたいと思います。

→学校でも伝えてはおりますが、ご家庭でもお話ししていただくと助かります。

給食に関してですが完食のご指導は大変有り難いのですが、ラーメンや汁系の際 スープも飲み干すのは子供も午後の授業が気持ち悪くなる事もあるとの事なので無理の無い程度にご指導下さるようお願いしたいです。

→ご意見ありがとうございます。子どもたちに負担にならないような声かけを行っていききたいと思います。

政府、メディアによる偏向報道そのままの感染予防対策のように思えます。本来、ある事象に関し意見が分かれる場合、どちらの考えも踏まえたうえで精査すべきです。個々人の思想、心情もくみ取っていただけるよう望みます。

→ご意見ありがとうございます。先日、HPに掲載した体育時におけるマスク着用のケースのように、苦しい場面では外すのも可能等、その子、その場に応じて対応を取っているつもりです。もし、足りない点がございましたら、教頭の方まで連絡をいただけたらと思います。

毎月の学級費がほかの学校よりだいぶ高いです。特に、プリントや問題集等既製品の購入に頼りすぎていて、教材作成に工夫が無いのが気になります。忙しいかもしれませんが、授業が学校の核だと思います。

→ご意見ありがとうございます。「授業が学校の核」、まさにその通りだと思いますし、本校の職員もそこを理解し、日々の授業における教材研究（授業の準備）もしっかり行っております。しかし、小学校は基本的には全教科を担当が行うため、教材研究（授業の準備）に時間を費やしております。そのため、プリントや問題集、反復練習等、授業以外に関しては、業者からの購入を行うことで、職員の負担軽減を図っております。ただし、学級費は保護者からいただいておりますので、学級費の内訳に関してはしっかりと精選を図っていききたいと思います。

高学年（小4以上）の音読の宿題、いつも嫌がってやりません。内容としてそもそも適切なのか？疑問。内容の知っている教科書を何度も読むのはもはや苦行であり、やる様に毎回声をかけないといけない親の気持ちも理解して欲しい。やらないで、ではなく、もっと工夫して欲しい。

→ご意見ありがとうございます。学校においては、～読み、～読みといった方法で読ませることで、子どもたちに飽きさせない工夫を行っておりますが、ご家庭においてはご苦労されている保護者の方も多々いらっしゃると思います。しかし、音読は基本的な学習になりますので、特に低学年は確実に取り組んでいただきたいと思います。（以下に音読を行う理由を挙げています。）また、高学年においても以下の文を読んで頂いて、記述されていることがクリアしていると判断されれば、担任に連絡して調整していただけたらと思います。

**以下に音読を行う理由を記述しておりますので、ご確認よろしくお願ひします。**

**音読を行う理由として以下に3つ挙げます。**

### **1、体づくり**

音読する際に、しっかり両足を床につけておなかから声を出すように指導しています。そうすることで、お子さんの体幹が鍛えられます。

### **2、声の大きさの調整**

聞き手がどの位置にいるかによって、どれくらいの大きさで話すかということはもちろん、はっきりとした発音で聞き取りやすい話し方を意識することで、相手に的確に声を届ける練習になります

### **3、日本語のリズムをつかむ**

国語の教科書には、リズムよく読める詩が多いのも特徴のひとつ。これらの文章を、テンポよくリズムに乗って声に出して読むことで、日本語の響きを体感できます。

**音読を行うことで得られる効果を以下に5つ挙げます。**

- 1、文章への理解が深まる
- 2、脳が活性化されて記憶力がアップする
- 3、コミュニケーション能力が鍛えられる
- 4、集中力が高まる
- 5、黙読も速くなる

### **保護者をお願いしたいこと**

お子さんの音読を聞く際には「手を止める」「すかさずほめる」を徹底して心がけるべきだといわれています。そうすると、お子さんの脳は非常に活性化するといわれています。

また、「音読ができたことをほめながら、『さっきのセリフをとっても大きな声で読んだのはどうして?』『小さな声で読んだのはどうして?』といったふうに問いかけてください。物語は会話文とそれ以外の地の文で構成されています。なかでも、会話文の読み方によって、お子さんがどれだけ登場人物の気持ちを理解しているかがわかります。もしかしたらお子さんは、無意識のうちに声のトーンや読む調子を変えていたのかもしれませんが、しかし、この「振り返り」によって登場人物の気持ちを考える訓練になり、読む力が高まります。

気をつける点としては、上手に読めなくても叱らないことです。最初はつまずくことも多いかもしれませんが、繰り返し音読し、その姿を保護者に見守ってもらいほめてもらうことで、自信につながっていきます。毎日の音読を通して、お子さんの自己肯定感を高めていってほしいと思います。

音読はさまざまな能力を伸ばすのに効果的だといわれています。その時間を通して親子のコミュニケーションも図っていただけたらと思います。